

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第2巻第8号

第8週(2月18日～2月24日)

発行年月日:平成14年(2002年)3月4日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (8週)	累積報告数 (1週～8週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	4
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	0	5
	急性ウイルス性肝炎	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	2
	後天性免疫不全症候群	1	1	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	1	1	6
	レジオネラ症	0	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	8週	増減	2～7週平均
インフルエンザ	7.96		4.58
咽頭結膜熱	0		0.01
A群溶連菌咽頭炎	0.53		0.47
感染性胃腸炎	5.19		4.61
水痘	2.25		2.09
手足口病	0.09		0.23
伝染性紅斑	0.19		0.50
突発性発疹	0.53		0.44
百日咳	0		0
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	0		0
麻疹	0.06		0.07
流行性耳下腺炎	1.13		0.87
急性出血性結膜炎	0		0.02
流行性角結膜炎	0.57		0.41
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0.14		0
無菌性髄膜炎	0		0.07
マイコプラズマ肺炎	0.29		0.36
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、平成14年2週～7週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)

3) 今週のトピックス

インフルエンザの流行は、全国に拡大

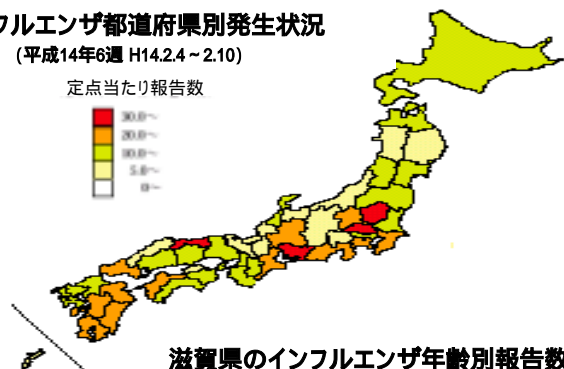
滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年2週～7週の平均と平成14年の8週を比較すると、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、突発性発疹、流行性耳下腺炎等に増加傾向が見られます。また、インフルエンザは関東地方、東海地方、中国・四国地方、九州地方で定点当たり報告数が増加しています。年齢階級別では、5歳以下の子どもが全体の約4割、20歳以上では全体の約2割を占めています(iDWR2002年第4巻第6号より)。

全国のインフルエンザ発生状況および滋賀県におけるインフルエンザ年齢別発生状況は、下記のとおりです。

インフルエンザ都道府県別発生状況

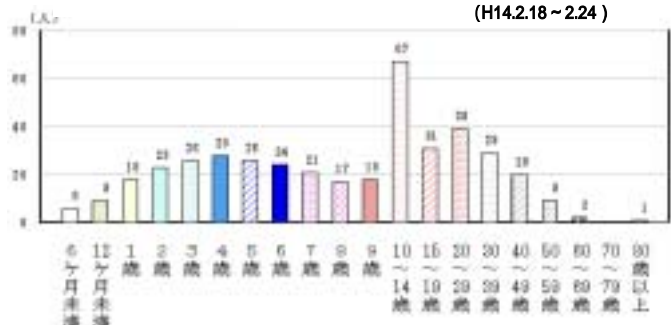
(平成14年6週 H14.2.4～2.10)

定点当たり報告数

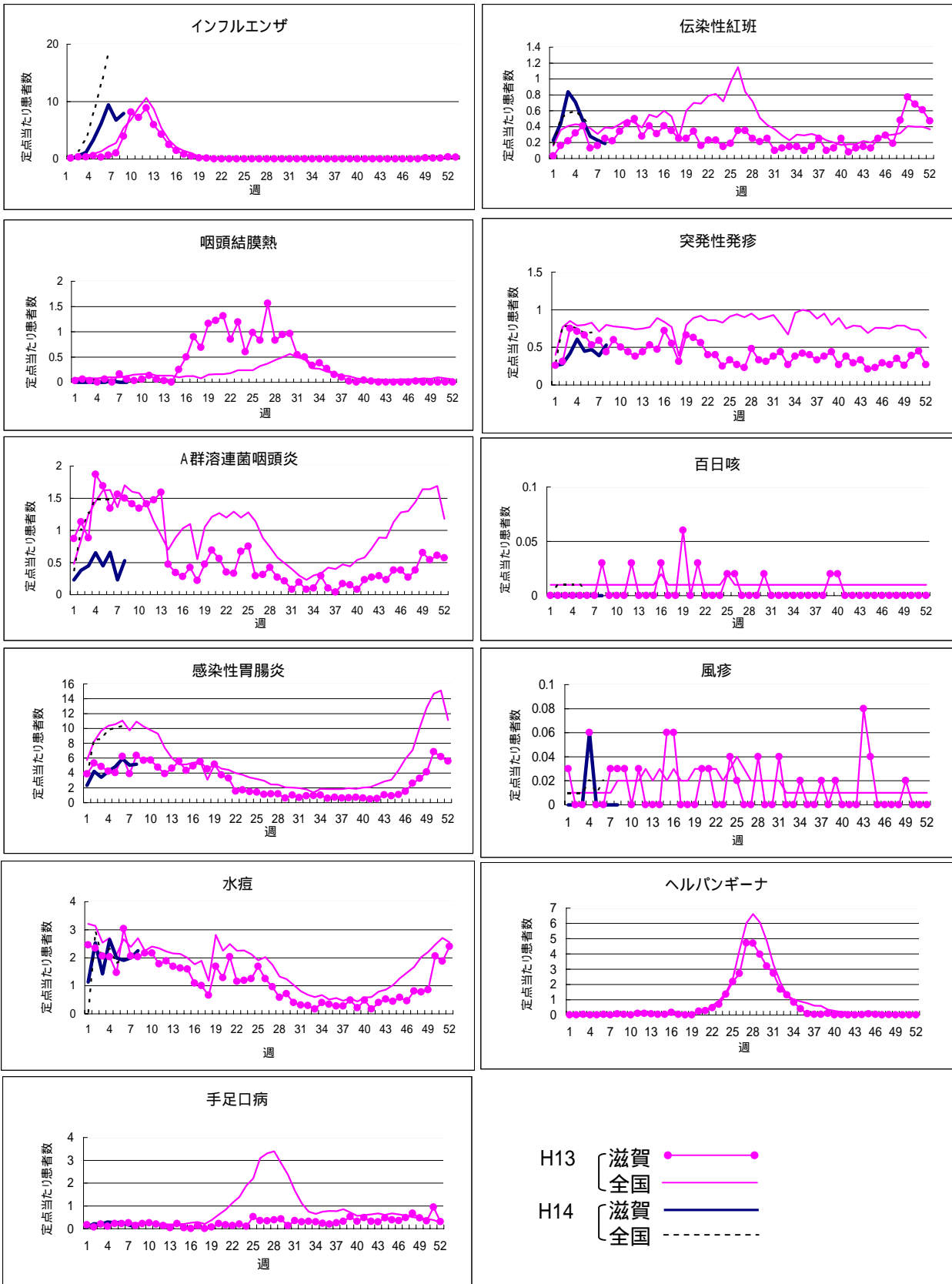


滋賀県のインフルエンザ年齢別報告数

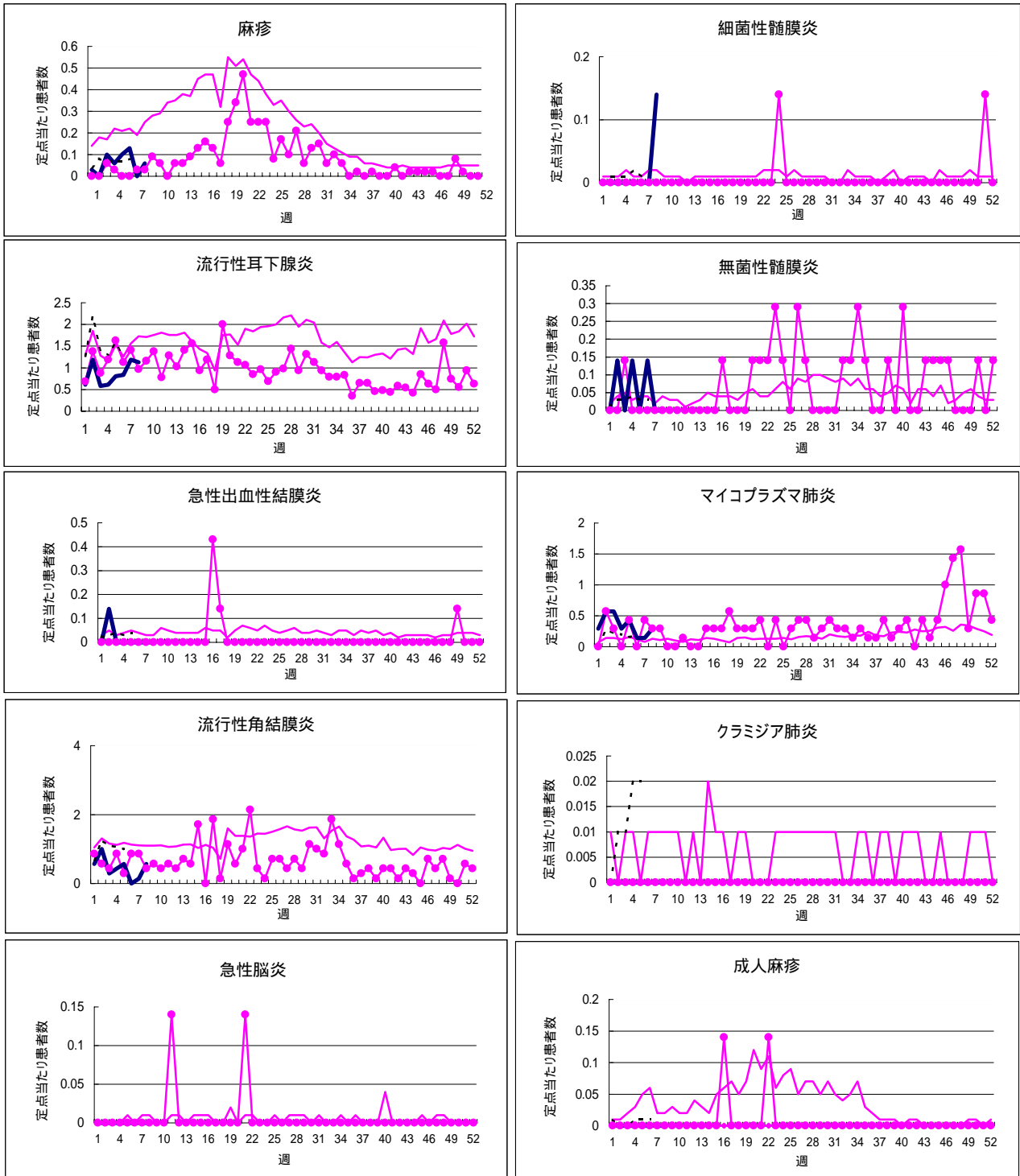
(H14.2.18～2.24)



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第8週)



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第8週)



H13 { 滋賀 ●——●
 { 全国 ————
 H14 { 滋賀 ————
 { 全国 - - - - -